

柴田町新図書館設計者選定プロポーザル審査経過
令和6年3月22日
柴田町

.....

1 第1段階審査

- 日時：平成6年2月20日（火）午前10時から
- 場所：柴田町保健センター4階多目的ホール
- 提案書の提出：8者
- 委員：5名全員出席

(1) 審査

- 提案書については、事前に委員に配布した。
- 提案者は匿名とし、審査を行った。
- 業務実績説明書（様式2）については、固有の名称等を隠したうえで、審査会当日委員に配布した。
- 業務実施方針及び提案書（テーマ1、2、3）を会場のパネルに掲示して審査を行った。
- 第1段階審査の経過（概要）は以下のとおり。

(2) 各提案内容の確認及び意見交換

- 参加承認番号順にパネルに掲示した「業務実施方針」及び「提案書」について、委員全員で1件あたり10分から15分程度で内容を確認した。
- 内容の確認の際に発言のあった評価、意見、委員間で確認した事項等の概要は次のとおり。

【参加承認番号1】

- ・オーソドックスであるが、しっかり考えられている提案となっている。
- ・大きな広場については防犯上の懸念はあるが、オープンな印象を受け、新しい景観となる期待がある。
- ・広場を中心とした提案であることを確認した。

【参加承認番号2】

- ・柴田産材の利用の提案の可能性について確認した。
- ・町全体を本棚にするというアイデアはおもしろい。
- ・まちづくり活動が中心の施設としての色合いが強い図書館の提案となっている。

【参加承認番号3】

- ・「花のまち柴田」を前提とした図書館計画の提案となっている。
- ・「ニワ」（広場）のネットワークの提案であることを確認した。
- ・花を中心にしたプログラムやラボの提案であることを確認した。

【参加承認番号4】

- ・分棟型、混構造での提案であることを確認した。
- ・地域防災に関する事項も含まれている提案であることを確認した。
- ・賑わい創りを中心とした提案であることを確認した。

【参加承認番号5】

- ・ 作ろうとする建築のイメージが明確である。
- ・ 管理運営計画を重視した提案となっている。
- ・ 健康管理に関する内容を図書館に盛り込む提案であることを確認した。

【参加承認番号6】

- ・ 町民と一緒に図書館を育てていくプログラムは興味ある。
- ・ ワンルームの空間を持った図書館の提案となっている。
- ・ まちづくりを重要視している提案となっている。

【参加承認番号7】

- ・ 広場がしっかり確保できる配置の提案となっている。
- ・ 分棟型と一棟型の融合案で、屋根の繋がりが興味深い。
- ・ 新しいアイデアが盛り込まれていておもしろいが、実現性に疑問が残る。

【参加承認番号8】

- ・ 大屋根の提案で、うまくいけば美しい建物になる可能性がある。
- ・ ZEBの実現を目指そうとしている提案となっている。
- ・ 基本計画、設計をまとめる際に自由度は高い提案となっている。

(3) 提案全体に関わる意見等

- 基本計画策定前の段階でのプロポーザルの実施であることから、まちづくりの提案を重視したが、具体的な提案になりづらかった面がある。特に新しい図書館がどのように機能していくかといった提案が少なかった。
- まちづくりに関しては様々な視点での提案、アイデアがあり、興味深いものとなった。
- まちづくりの提案については、実現可能性、具体性に疑問が残る提案が多いと感じた。また、「設計者としてどのように関わっていくか」、「運営主体をどう考えるか」という視点での提案が少なかった。
- 図書館での具体的活動に対する提案が少なかった。
- 建物の具体的なイメージが先行しすぎているものもあった。
- コスト面で不安のある提案もあった。
- 基本計画策定に関する提案については、基本設計のプロセスとの区分が不明確となっている提案が多くみられた。
- 基本構想案を前提として、基本計画をどうするかという視点での提案が少なかった。
- 提案書だけでは、提案の主旨が不明の点が多くあることから、プレゼンテーション・ヒアリングでの対応が重要となる。

(4) 投票

- 投票前の意見交換等
 - ・ それぞれの提案の伝えたいポイントが違っているので、評価の視点を統一するのは難しく、各委員がそれぞれの視点での投票をしてはどうか、といった意見が出された。
 - ・ 委員の投票については、一人5票とすることを確認したうえで投票を行った。

(5) 投票結果

- 【参加承認番号1】** : 5票
- 【参加承認番号2】** : 4票
- 【参加承認番号3】** : 3票
- 【参加承認番号4】** : 0票
- 【参加承認番号5】** : 2票
- 【参加承認番号6】** : 3票

【参加承認番号7】：4票

【参加承認番号8】：4票

(6) 票数による集計 ※上記の別集計

- 得票数5：1者
- 得票数4：3者
- 得票数3：2者
- 得票数2：1者
- 得票数1：なし
- 得票数0：1者

(7) 第2段階審査対象者の選定

○意見交換・議論

・上記票数による集計を基に、以下の経過で議論が進められた。

- ・得票数2票以下【参加承認番号4、5】については、第2段階に進まないことが確認された。
- ・得票数5票1者【参加承認番号1】については、委員全員が選定しているの第2段階対象として選定することが確認された。
- ・得票数4票3者【参加承認番号2、7、8】については、委員間で協議のうえ、第2段階対象として選定することが確認された。

- ・第2段階審査対象は「5者程度」としており、得票数3票の2者【参加承認番号3、6】について、以下の選択肢にあることを確認。
 - 「両者とも選定する」（第2段階審査対象：6者）
 - 「両者とも選外とする」（第2段階審査対象：4者）
 - 「どちらかを選定する」（第2段階審査対象：5者）
- ・得票数3票2者【参加承認番号3、6】について、委員間で以下の内容で議論された。
- ・【参加承認番号6】は、まちづくりの部分で【参加承認番号3】よりも優れているとの意見。
- ・【参加承認番号6】は、提案書の表現方法がまとまっているとの意見。
- ・両提案【参加承認番号3、6】とも、まちづくりの提案が主で、核となる図書館の具体性のある提案に欠けるとの意見。
- ・4票以上の提案と比較した場合、差があるのではないかという意見。
- ・最終的に、両者【参加承認番号3、6】とも第1段階では選外とすることが合意された。

(8) 第2段階審査対象者の決定・確認

○第2段階審査対象者以下の4者とすることを確認

【参加承認番号1】

【参加承認番号2】

【参加承認番号7】

【参加承認番号8】

(9) 第2段階審査、プレゼンテーション・ヒアリングに向けての意見等

- ・プレゼンテーション・ヒアリングでは、図書館をどのように作り、どのような利用形態とするかの説明を聞きたい。
- ・「まちづくりに対してどこまで設計事務所として関わっていくのか」、「まちづくりの将来性などをどのように考えているか」などをヒアリングしたい。
- ・まちづくりについては、うまく地域と関わり、育てていける可能性がある。その可能性を新図書館及び旧図書館で実現することができれば、魅力的なまちとなるように感じる。
- ・プレゼンテーション・ヒアリングでは具体性のある説明を期待する。コンセプトをしっかりと示しながら、誰にでもわかりやすいプレゼンテーションを期待する。

- 町長の想いである広場を中心としたコンパクトで効率的、オシャレでハイカラな提案を期待する。
- まちづくりの実現性の面で疑問が残る提案が多かったが、町は町民を巻き込むことでいろいろな可能性を育てることができると思う。

2 第2段階審査

- 日時：令和6年2月27日（火）午前10時から
- 場所：柴田町保健センター3階入札室
- 提案者：第2段階審査対象4者すべて出席
- 委員：5名全員出席

(1) プレゼンテーション・ヒアリング

- プレゼンテーション・ヒアリング前の意見交換
 - ・各評価項目の配点がA:30点、B:20点、C:10点、D:5点となっており、配点の刻み方をも少し細かく採点してはどうかと意見があったが、4者で点数に差をつけるためにもこのままでよいのではという意見もあり、この配点で進めることを確認した。
 - ・提案者の思い、配置プランやブロックプラン、図書館建設後の協力体制やかかわり方など、提案書では分かりづらかった点を確認したい。
 - ・柔軟に対応できるチームを選びたい。

○プレゼンテーション・ヒアリングの実施

- ・10:40-11:20 【参加承認番号1】
- ・11:20-12:00 【参加承認番号2】
- ・13:00-13:40 【参加承認番号7】
- ・13:40-14:20 【参加承認番号8】

※プレゼンテーション・ヒアリング要領

- プレゼンテーション時間：20分以内
- ヒアリング時間：15分以内
- 合計35分以内とし、入れ替え時間を含め40分以内

(2) 採点

- 評価要領を基に委員が採点票を作成し、事務局で集計

○評価項目

- ・業務実施方針、業務遂行能力
- ・提案テーマ1 本計画策定の実施方針、体制、具体的業務実施プロセス等の提案
- ・提案テーマ2 「都市再生整備計画」のエリアにおける新図書館とまちづくりの関係について
- ・提案テーマ3 新図書館及び周辺地域における景観形成、まちなみ形成の考え方と方向性について

○配点：1委員あたり120点満点

- ・業務実施方針、業務遂行能力
 - A 能力意欲が高く、内容が充実しており極めて優秀なもの：30点
 - B 能力意欲が高く、内容が充実しており優秀なもの：20点
 - C 能力意欲、内容が良好なもの：10点
 - D 能力意欲、内容が一般的なもの：5点
- ・提案テーマ1、2、3 ※それぞれに以下の配点
 - A 内容が充実しており極めて優秀なもの：30点
 - B 内容が充実しており優秀なもの：20点
 - C 内容が良好なもの：10点
 - D 内容が一般的なもの：5点

(3) 集計結果

○合計点数：5名の審査員の合計点数

【参加承認番号1】	500点
【参加承認番号2】	460点
【参加承認番号7】	490点
【参加承認番号8】	380点

○各委員のつけた点数による順位

	順位に対する委員数			
	1位	2位	3位	4位
【参加承認番号1】	2人	2人	1人	0
【参加承認番号2】	3人	0	1人	1人
【参加承認番号7】	2人	1人	1人	1人
【参加承認番号8】	0	1人	3人	1人

(4) 最終審査

○集計結果から、全委員の合計点数により評価することで委員全員が合意。

○最終結果

- ・最優秀提案事業者 **【参加承認番号1】**
- ・次点事業者 **【参加承認番号7】**

○最終審査後の委員の発言等

- ・最優秀提案事業者 **【参加承認番号1】**
 - メインとなる通りに開かれた庭と妻側を見せるデザインで景観に配慮された配置計画。このエリアでの新しい雰囲気の広場であり、期待感が膨らむ。
 - 提案書では、網羅的な提案で具体的な記載が少ないが、ヒアリングで提案主旨等が確認され、まちのイメージと一番合っていたように感じた。
 - 安定感があり、チーム構成がしっかりしている。
 - 総合的な図書館の支援については、具体性が明確になっていないように感じる。
 - チーム構成がしっかりしていて、コストコントロールやスケジュール管理が的確に行えるような安心感がある。一方で町や住民に寄り添って取り組んでいくことを望む。
 - ビジネスライクに感じられたが、チームのバランスがあり、業務を進める確実性はあると思う。
- ・次点事業者 **【参加承認番号7】**
 - 意欲的で興味ある提案だった。
 - 広場の形態が道に対して閉じた印象がある。まちづくりの仕掛けは魅力的だが、実現性の面で不安が残った。
 - 斬新な提案ではあるが、「あなたとつくる100年後も輝くまち」というタイトルと提案内容が結びつかなかった。
 - 配置計画で開けているプランは良いが、施設に裏面が出来ているのは気になった。
 - 「旅する本」や「一箱本棚」などの提案がおもしろいと感じた。
 - まちづくりラボの継続的な設置について明言していたことを評価したが、具体的なラボの中身次第のところがある。
- ・ **【参加承認番号2】**
 - 建物を透かして奥が見えたり、路地空間ができたりする提案が魅力的で評価したが、組織力に欠けるように感じた。

- プロセスから建設後まで関わるという姿勢が評価される。
- まちづくりの位置づけがしっかりしている。

- **【参加承認番号8】**

- 大屋根の建築の提案は印象的だったが、ヒアリングでもコスト面での不安は解消されなかった。
- 提案内容に一貫性が欠けていたように感じた。